

# 麗江市との友好推進へ意見交換

日中韓観光大臣会合への国家旅游局長の来高も要請

4月29日から5月1日の3日間、「2009中国昆明国際観光祭」に出席するため、土野市長が中国を訪問しました。

この催しは、雲南省と昆明市が主催する同省の観光PRイベント。高山市が同省麗江市の友好都市であることなどから招待を受けたものです。

訪問中に行われた王君正・麗江市人民政府市長との会談では、交流研修員や

農業研修生の派遣交流などをはじめとする両市の友好関係の推進などについて意見を交換。また、5月1日の邵琪偉・中国国家旅游局長との面談では、今年10月に中部地方で開催される日中韓観光大臣会合の二日目の会場が高山市であることから、局長の訪日を心待ちにしている旨を伝えました。

問合せ先

秘書国際室  
☎35-3130



王君正市長(右)と会談する土野市長

## 新設公園の名称を募集

市では、旧パークボウル跡地に新しく公園を整備し、平成21年7月下旬に全面オープンを予定しています。

この公園は、市街地や飛驒山脈の眺望も素晴らしいものがあり、開放的な芝生広場で風を感じながら、安らぎ憩えるよう整備しました。

今回、市民のみなさんに親しみやすく、また愛される公園とするため、広く名称を募集します。

**施設概要** 芝生広場、遊歩道、展望デッキ、トイレ、駐車場

**注意事項** ・応募作品は自作で未発表に限ります  
・採用作品に関する一切の権利は高山市に帰属します。  
・応募作品は返却しません。

**応募方法** 住所、氏名、年齢、電話番号、名称、名称の解説を記入のうえ6月22日(月)までに **ハガキ**、**FAX**、**MAIL** で申し込みください。

応募先  
問合せ先

都市整備課  
☎35-3176 FAX35-3168  
toshiseibi@city.takayama.lg.jp



陸上競技フィールドが収まるほどの広さです

## 「高山祭の屋台行事」が無形文化遺産の候補に

ユネスコの登録は来秋／県内では初の選定

国の重要無形民俗文化財である「高山祭の屋台行事」がユネスコの無形文化遺産の国内候補に選定されました。



この制度は、祭りなど無形の文化遺産を世界的に保護するために、ユネスコが「人類の無形文化遺産の代表的な一覧表」を策定するものです。

今回、国内の候補として、高山祭の屋台行事をはじめ13件が選ばれました。今後は、8月末にユネスコに提案書が提出され、審査を経て来年の9月頃に決定される予定です。

今回選ばれた内容は、春・秋の高山祭です。屋台の巡行や、からくりの上演、祭行列、鬨鶏楽、獅子舞などの祭礼行事。また、宮本、年行司と呼ばれる役の指示で行われ

ることや、屋台組の存在など祭礼組織にも特色がみられることなどが評価されています。

これまで、市が目指してきた「ユネスコの世界文化遺産」とは異なる制度での選定ですが、今回のユネスコ無形文化遺産一覧表登録の候補となったことを契機として、伝統的な文化の継承や、歴史的な景観の保存活用をさらに進め、地域のみなさんと協力して、歴史を生かしたまちづくりを進めていきます。

問合せ先

文化財課  
☎35-3156